

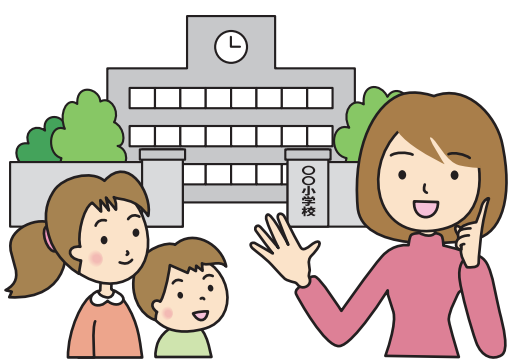
防災マップの活用

避難について話し合みましょう

ステップ1

自宅付近の指定避難所を確認しましょう。

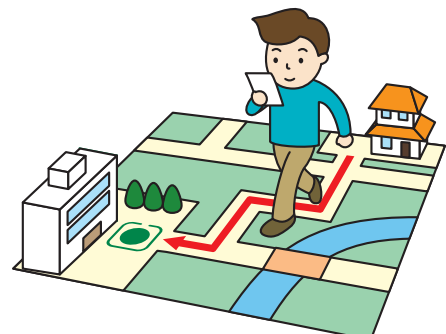
災害種別ごとに指定避難所を地図で確認しましょう。



ステップ2

避難場所までの経路を設定し、実際に歩いてみましょう。

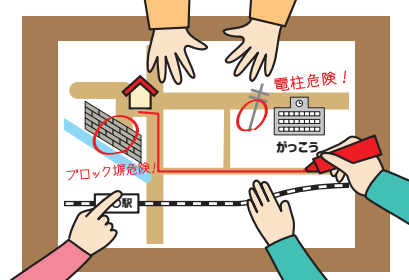
家庭や地域で話し合いながら、実際に歩いてみましょう。避難経路に危険な区域がある場合には、避難経路を見直しましょう。



ステップ3

確認した結果をもとにマイハザードマップを作成しましょう。

確認した結果をハザードマップに反映し、マイハザードマップをつくりましょう。また、避難に必要な時間を考慮し、マイタイムラインもつくってみましょう。



準備しておきたい備蓄品・非常時持ち出し品

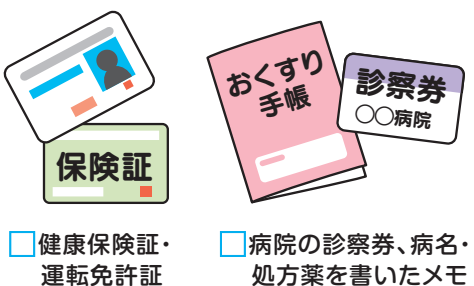
用意ができたら チェックしましょう。

チェック日

いざという時の備えを!

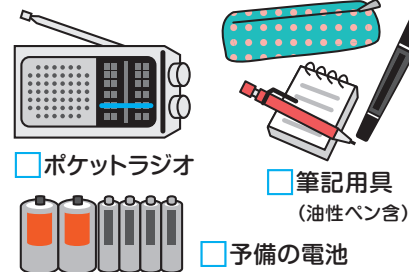
避難の際に準備しておきたいもの

個人に必要な情報



健康保険証・運転免許証 病院の診察券、病名・処方薬を書いたメモ

状況を把握するため



ポケットラジオ 筆記用具 (油性ペン等) 予備の電池

いざという時の備え



ホイッスル (呼び笛)・防犯ベル 食料 飲料水 粉ミルク・液体ミルク

※家には常に、3日分程の食料・飲料水を備蓄しておきましょう。



長期的に準備しておきたいもの

速やかな避難のため



紐なしの靴 作業用手袋 ヘルメット レインコート

なければ困るもの・いざという時の備え



常備薬 マスクや補聴器 通帳等の貴重品

ラップ・ポリ袋 ウエットティッシュ・除菌アルコール タオル・下着類 携帯電話・充電器 マッチ・ライター 毛布・寝るもの 衛生用品 (マスクなど)・生理用品 その他、個別に必要なと考えられるもの

● 防災マップは、災害に備えて大切に保管しておきましょう。 ● 避難所や避難経路は事前に家族で確認しておきましょう。

防災に関してのお問い合わせ先 **行橋市役所 TEL 0930-25-1111**

日頃からの備え
保存版
いざという時のために事前に確認!

令和3年

YUKUHASHI CITY
行橋市

防災マップ



平成3年 台風19号の被害

6・30水害 (昭和54年) 行事での救助活動

▲ 昭和54年 6・30水害

防災マップ(避難地図)について

近年、想定を超える大雨、台風などの発生から各地で河川の氾濫、土砂災害、高潮災害などの被害が頻発し、災害発生の危険性が高まっています。福岡県においても「洪水浸水想定区域図」、「土砂災害警戒区域」、「高潮災害」などの危険区域が更新され、行橋市におきましても、洪水、土砂、高潮、地震、津波災害などのさまざまな災害の危険性が予想されており、「行橋市防災マップ」を見直しました。

住民の皆さまにおかれましては、「自分たちのまちは、自分たちで守る!」という意識のもと、この防災マップに掲載する災害情報や危険区域を確認するなど、災害リスクへの正しい知識、命をも守る行動に心がけていただき、災害に備えていただけますようお願い申し上げます。

行橋市防災マップは、九州防衛局の特定防衛施設周辺整備調整交付金を用いて作成しています。

令和3年3月 行橋市